

製品名: アスパラギン合成酵素ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00087**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 64 kDa; Observed MW: 61 kDa

抗原情報

遺伝子名	ASNS
別名	TS11; ASNSD; ASNS; Asparagine synthetase [glutamine-hydrolyzing]
遺伝子 ID	440
SwissProt ID	P08243
免疫原	ヒトアスパラギン合成酵素の合成ペプチド

背景

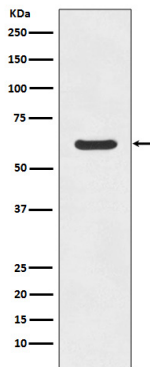
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アスパラギンの合成に関与しています。この遺伝子は、温度感受性ハムスター変異

体 ts11 の変異を補完するものであり、この変異は、細胞周期の G1 期の進行を阻害し、非許容温度域で阻害します。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。

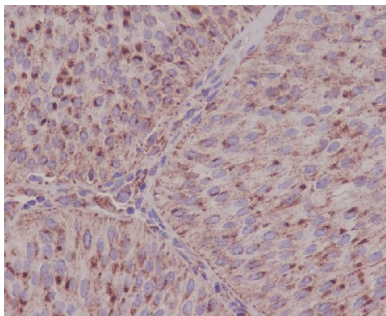
研究分野

シグナル伝達

画像データ



アスパラギン合成酵素抗体を使用した K562 溶解物中の ASNS のウェスタン ブロット分析。



ASNS 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。